

# 平成30年度 中学生チャレンジテスト（3年生）の結果概要

高槻市教育委員会 平成30年12月



## 【調査の目的】

- 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立公等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

## 【調査の概要】

- 実施日：平成30年9月6日(木)
- 実施校数及び実施生徒数 中学校18校 3年生 2,766人
- 学力に関する調査 国語・社会・数学・理科・英語
- 生徒に対するアンケート 全学年・教科で各2問

## 【調査結果の取扱い】

本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないよう十分配慮をお願いいたします。  
調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要と考えます。

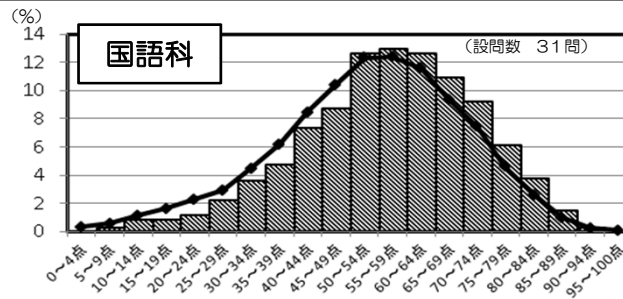
## 教科別・平均点比較（対大阪府）

学年・教科	平成30年度 (点)			
	高槻市	大阪府	差(対大阪府)	
3年	国語	56.5	53.0	+3.5
	社会	52.0	49.5	+2.5
	数学	62.6	58.9	+3.7
	理科	60.9	58.0	+2.9
	英語	63.6	58.5	+5.1

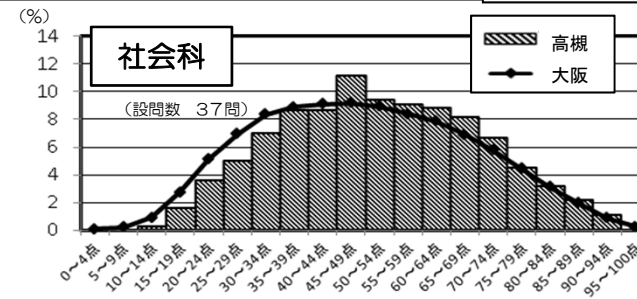
## 現3年生の3年間の対府比の推移

	平成28年度 1年生	平成29年度 2年生	平成30年度 3年生
国語	1.041	1.043	1.065
社会	—	1.057	1.052
数学	1.086	1.088	1.063
理科	—	1.057	1.050
英語	1.091	1.091	1.088

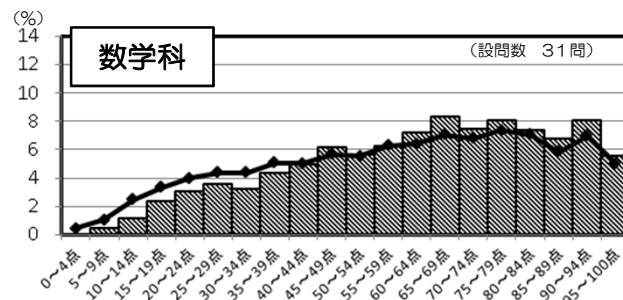
## 得点分布グラフ 横軸：得点(点) 縦軸：割合(%) 領域別平均点・得点率/ 対大阪府比



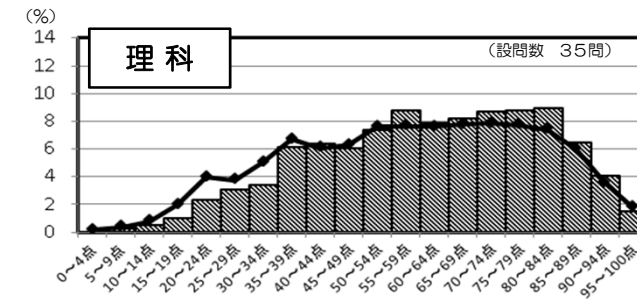
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				高槻市	大阪府	高槻市	大阪府
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	14	11.8	11.4	84.1	81.4
	書くこと	5	22	9.4	9.0	42.8	40.9
	読むこと	11	37	15.6	14.2	42.2	38.5
	伝統的な異文化と国際性に関する事項	15	42	25.8	23.8	61.3	56.7



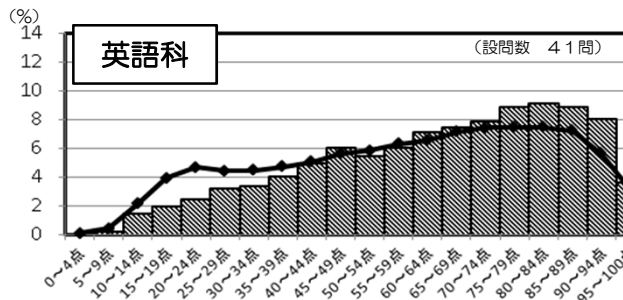
分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				高槻市	大阪府	高槻市	大阪府
学習指導要領の領域等	地理的分野	19	55	30.7	29.3	55.7	53.2
	歴史的分野	18	45	21.4	20.2	47.5	44.9



分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				高槻市	大阪府	高槻市	大阪府
学習指導要領の領域等	数と式	9	29	21.6	20.5	74.3	70.5
	図形	8	26	16.4	15.5	63.1	59.6
	関数	9	29	14.8	13.7	51.0	47.1
	資料の活用	5	16	9.9	9.3	61.7	58.3



分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				高槻市	大阪府	高槻市	大阪府
学習指導要領の領域等	物理的領域	9	26	14.4	13.6	55.4	52.5
	化学的領域	9	25	17.2	16.3	68.8	65.2
	生物的領域	9	25	15.1	14.5	60.6	58.0
	地学的領域	8	24	14.1	13.6	58.9	56.6



分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				高槻市	大阪府	高槻市	大阪府
学習指導要領の領域等	聞くこと	12	24	15.7	14.5	65.3	60.4
	話すこと	—	—	—	—	—	—
	読むこと	30	72	48.0	44.5	66.6	61.9
	書くこと	3	12	4.8	4.0	39.6	33.2

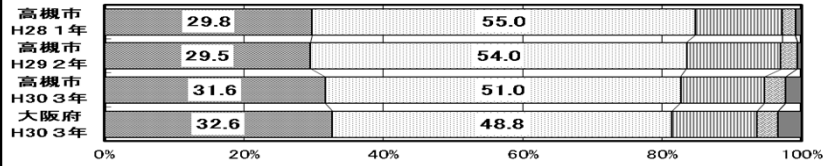
## 【各教科の結果について】

- ・5教科ともに調査内の全ての領域・観点において大阪府平均点を上回りました。
- ・対府比の推移を見ると、課題であった国語の結果が、3年間で上昇しています。
- ・得点分布グラフからは、どの教科も、大阪府と比較して、得点の低い生徒の割合が少なく、得点の高い生徒の割合が多い傾向があります。

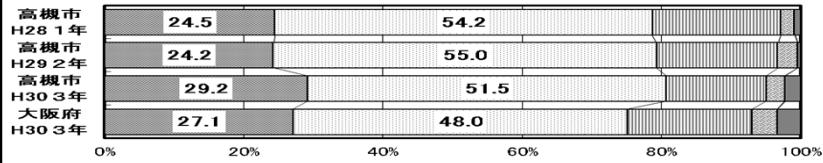
当てはまる  
  どちらかといえば、当てはまる  
  どちらかといえば、当てはまらない  
  当てはまらない  
  その他  
  無解答

国語科

国語の授業の内容はよく分かる。

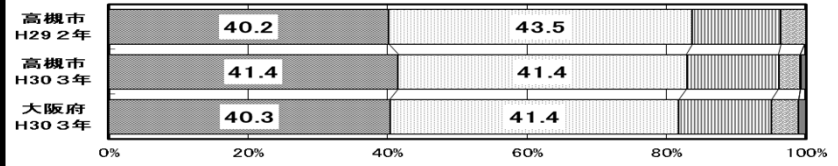


国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。

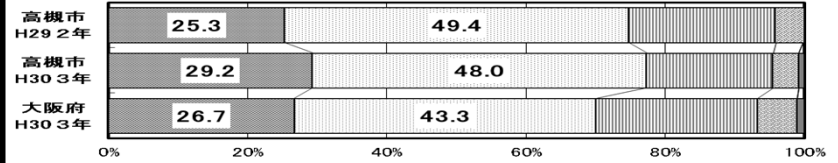


社会科

社会の授業の内容はよく分かる。

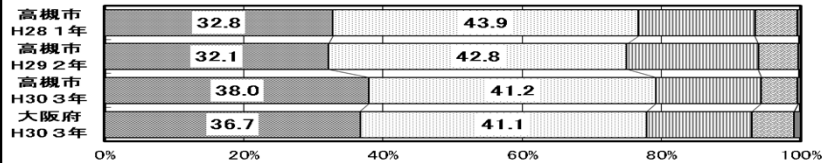


社会の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。

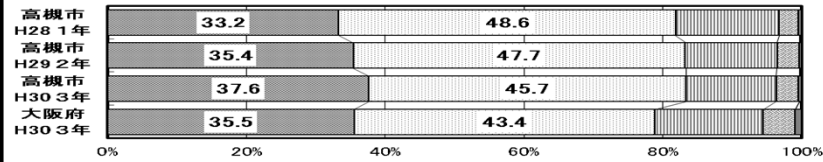


数学科

数学の授業の内容はよく分かる。

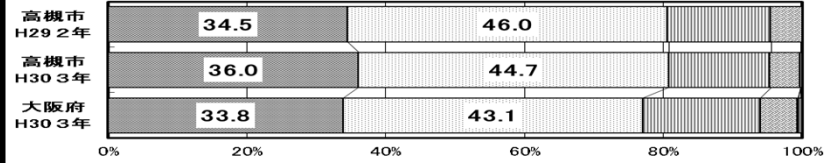


数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

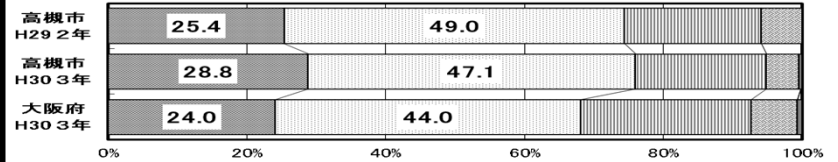


理科

理科の授業の内容はよく分かる。

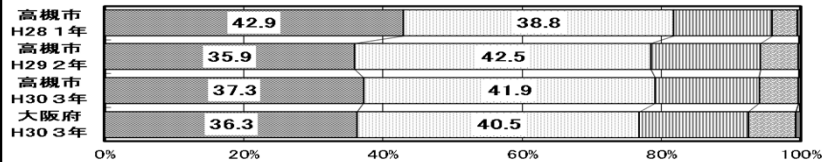


理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。

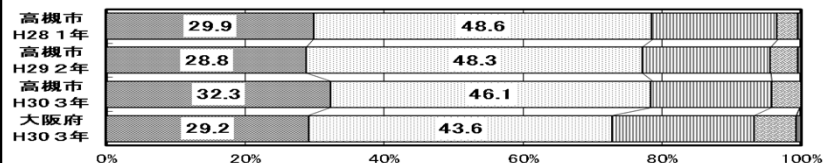


英語科

英語の授業の内容はよく分かる。



英語の授業で自分の考えを表現するとき、相手に伝わるよう工夫して話したり、書いたりしている。



【生徒に対するアンケートの結果について】

- ・ 1つ目の「授業の内容がよく分かる」の質問では、今年度の全教科で肯定的な回答の割合が大阪府の平均値を上回っています。3年間の推移を見ると、特に数学では、1・2年生の頃と比較し、授業内容がよく分かるという回答している生徒が増えています。
- ・ 2つ目の各教科の思考力、判断力、表現力等を育成する学習活動の状況を問う質問については、今年度の全ての教科で肯定的な回答の割合が大阪府の平均値を上回っています。3年間の推移を見ると、どの教科も3年間で、向上しています。

\* 肯定的な回答とは、選択肢のうちの「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」と回答した合計のことです。